



## ▼ ごあいさつ ▼

日頃は **NEZUGROUP** とお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

今回の NEZU システム通信は、  
① 鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟 2012 年 3 月 23 日発表)  
② 情報機器の節電対策  
についてお届け致します。

## ① 鉄鋼関連情報

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需要 2012 年 3 月』の資料を閲覧することが出来ます。  
(次回公表は 4 月下旬予定です。)

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu1203.pdf>

## ② 情報機器の節電対策

昨年は電力不足の為、節電活動が実施されました。今年は、**電力不足+電気料金値上げ**から節電意識が更に高くなっています。今回は、コンピュータ関連の節電対策アイテムについての情報をお届けします。

### アイテムその 1. 待機電力の測定は大切

★ワットメーター  2,000 円台～

各社から電力を測定する機器が発売されています。機器の待機電力※を知ることは大切です。折角、待機電力をカットする為の節電アイテムを購入しても、機器の待機電力が小さいと元が取れません。

※ 待機電力とは・・・スイッチを入れなくても、コンセントに繋いでおくだけで消費する電力のこと。

### 常時通電している機器がターゲットです。

無線 LAN アクセスポイント、ハブ、USB ハブ、プリンター、スキャナー、各種の充電用 AC アダプター等、常にコンセントに繋がっている機器は節電対象です。AC アダプターは、その先の機器が繋がっていても電力を消費するモデルが多いです。ノートパソコンの充電器も電源を切っても AC アダプターが電力を消費しているモデルがあります。



### アイテムその 2. 不使用の時間帯に電力をカットして節電

★アナログ・タイマー式  679 円～(amazon 調べ)

24 時間 15 分単位で設定可能です。簡単に設定が出来て、24 時間指定の時間に ON/OFF が便利です。

当事業部では冬場のトイレ凍結防止ヒーターで使用し、年間 360KW の節電に貢献しています。



★ **デジタル・タイマー式** 『デジタルタイマーコンセント』で検索 1,099円～(amazon調べ)

24時間1分単位で設定可能、曜日設定も可能です。16パターンまで登録出来ます。曜日が指定出来るので、土・日曜日の電力カットが可能です。

**当事業部では1台で無線アクセスポイント、玄関チャイム、空気清浄機等に使用し、年間22KWの節電に貢献しています。**



**アイテムその3. 節電タップで電力をカットして節電**

★ **パソコン連動の電源タップ** **パソコンと連動で周辺機器を自動電源OFF** 本製品2,244円～(amazon調べ)

<http://www.sanwa.co.jp/product/oatap/rendo.html>

プリンターやネットワーク機器等、周辺機器の電源をパソコンの電源に連動させて自動的にON/OFFさせることができる省エネ型コンセントです。パソコン終了時に自動で周辺機器の電源をOFFにするので、消し忘れ防止にも効果的です。

但し、考慮すべきは周辺機器の待機電力です。最近の機器は待機電力が1W以下の製品が多いです。例えば、液晶モニター(待機電力0.5W)、インクジェットプリンター(待機電力0.5W)の場合は、通常の7口タップ(800円程度)との価格差を節電分で元が取れるまでに10年かかります。しかし、待機電力が10W以上あれば、1年で元が取れます。対象の機器は待機電力測定で判断出来ます。



★ **節電エコタップ** **口毎にON/OFFが出来る電源タップ** 『省エネタップ』で検索 1,000円台～

口毎にON/OFFが出来、価格も安いです。周辺機器の電源管理はこれで十分かも知れません。

**当事業部では各人の机に設置しています。編集長デスクで年間40KWの待機電力の節電が出来ました。**



**アイテムその4. 節電対応機能付きをチェック**

★ **『おまかせ節電機能』搭載のスイッチングハブ(バッファロー)** **使わないポートの電力はカット!**

<http://buffalo.jp/product/wired-lan/lan-hub/lsw3-tx-ns/#feature-3>

ネットワーク配線で必要なスイッチングハブに『おまかせ節電機能』を搭載しています。未使用のポート(LANケーブルが接続されていない、接続されていても機器の電源が入っていない)を自動で判別し、電力の供給を制限します。夜間、休日などの多くのパソコンがシャットダウンされているオフィス等で大幅な節電が可能です。各社同様の機能付きの製品があります。 『節電ハブ』で検索



★ **待機電力99.9%カットの節電USBハブ** **パソコン連動でポートの電力カット!** 『節電USBハブ』で検索

節電対応のUSBハブも登場しています。パソコンの電源が切れるとハブに繋がっているUSB機器の電源供給を止め、待機電力を99.9%カットします。節電機能付きの有無で、価格差は特になさそうです。

★ **節電液晶モニター**

[http://www.eizo.co.jp/products/lcd/timeaway\\_fromdesk/index.html](http://www.eizo.co.jp/products/lcd/timeaway_fromdesk/index.html)

人感センサー搭載で離席時電源OFF、自動調光機能付き節電、パソコン連動で電源ON/OFF等、各社色々な機能を搭載したモデルがあります。



## アイテムその5. パソコンを新しくして省電力化

昔の機器と比べると**新しい機器は性能が上がり、消費電力が少なくなっています**。冷蔵庫やエアコン等の家電製品は、**新製品ほど省エネ対策が進んでいます**。同様にパソコンやサーバーも省エネ対策を施した製品が次々と発表されています。パソコンやサーバーを最新の製品に置き換えることで、従来と比べると消費電力が約半分に抑えられることもあります。

|        | 2006年モデル<br>Windows XP  | 2008年モデル<br>Windows Vista  | 2010年モデル<br>Windows 7  |
|--------|---|--|--|
| デスクトップ |  動画再生 133W<br>IE閲覧 108W<br>待機状態 102W |  動画再生 84W<br>IE閲覧 82W<br>待機状態 80W |  動画再生 57W<br>IE閲覧 53W<br>待機状態 52W |
| ノート    |  動画再生 42W<br>IE閲覧 37W<br>待機状態 36W    |  動画再生 40W<br>IE閲覧 30W<br>待機状態 31W |  動画再生 23W<br>IE閲覧 16W<br>待機状態 16W |



◆2006年と2010年のパソコンを比較した際の年間電気料金差額 (0.022円/Wh、1日8時間、年250日出勤で計算)

|        | 2006年消費電力平均 | 2010年消費電力平均 | 消費電力差 | 電気料金差額 |
|--------|-------------|-------------|-------|--------|
| デスクトップ | 114W        | 54W         | 60W   | 2,640円 |
| ノート    | 38W         | 18W         | 20W   | 880円   |

世界的に地球温暖化対策の為に省エネは重要な課題ですが、日本ではさらに、東日本大震災をきっかけとする電力事情(電力不足、料金値上げ)の変化で節電対策が急務です。情報機器の省電力対応は多くの製品でPRを始めています。十分に調べて投資対効果を考慮して省電力化を図っていくことが重要です。

### ■ 編集後記 ■

こんにちは、情報システム事業部の添田です。

福島県会津若松市の飯盛山に行ってきました。観光地としてテレビで良く観ることはあっても、小学生の頃の学習旅行で行ったきり、約20年ぶりでした。目的は国重要文化財に指定されている『さざえ堂』の拝観です。名前の通りさざえの様に渦状の構造になっていて、上りと下りの通路が違う六角三層のお堂です。200年以上前の正宗寺(廃寺)住職が、参拝者がすれ違うことなく参拝出来る様にと考案した建物です。お堂の中は急こう配で小さな迷路の様な感じでしたが、昔の人が建てた合理的な建造物に大変感心しました。現代の私たちももっと柔軟な発想が必要なのかも知れないと感じさせてくれた時間でした。

[http://www.geocities.jp/aizu\\_sazaedo/index.html](http://www.geocities.jp/aizu_sazaedo/index.html)



発行：根津鋼材 株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-32-5 (TEL)03-3805-5555  
 メール：[hp-master@nezu-g.co.jp](mailto:hp-master@nezu-g.co.jp) ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>  
 発行人：根津訓光／監修 樋口良成／編集長  
 編集：情報システム事業部 ※NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様のみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが [hp-master@nezu-g.co.jp](mailto:hp-master@nezu-g.co.jp) までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。